２年生　６章　確率（基本問題練習）※１、２、３が解ける人は、公立過去問へ。不安な人は、このプリント４～基礎を固めよう！

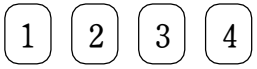
1 大小 2 個のさいころを同時に投げるとき，次の確率を求めなさい。

(1)　2 個とも 3 の倍数の目が出る確率

(2)　出る目の積が 20 以上になる確率

2 青玉 2 個，白玉 3 個が入った袋から，同時に 2 個の玉を取り出すとき，1 個が青玉で，1 個が白玉になる確率を求めなさい。

3 1，2，3，4 の数を 1 つずつ書いた 4 枚のカードから，もとにもどさずに続けて 2 枚を取り出します。1 枚目のカードを十の位の数，2 枚目のカードを一の位の数として 2 けたの数をつくります。



(1)　2 けたの数は全部で何通りできるか求めなさい。

(2)　できた 2 けたの数が，奇数である確率を求めなさい。

(　　)組(　　)番　名前(　　)

4 表を使って整理する

例題　大小 2 個のさいころを同時に投げるとき，出る目の和が 8 になる確率を求めなさい。

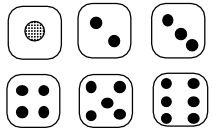
大小 2 個のさいころの目の出方は，次のように全部で 36 通りある。

大＼小	1	2	3	4	5	6
1	(1, 1)	(1, 2)	(1, 3)	(1, 4)	(1, 5)	(1, 6)
2	(2, 1)	(2, 2)	(2, 3)	(2, 4)	(2, 5)	(2, 6)
3	(3, 1)	(3, 2)	(3, 3)	(3, 4)	(3, 5)	(3, 6)
4	(4, 1)	(4, 2)	(4, 3)	(4, 4)	(4, 5)	(4, 6)
5	(5, 1)	(5, 2)	(5, 3)	(5, 4)	(5, 5)	(5, 6)
6	(6, 1)	(6, 2)	(6, 3)	(6, 4)	(6, 5)	(6, 6)

このとき，出る目の和が 8 になっているのは ☐ 通り

あるから，その確率は ☐

5 1 個のさいころを投げるとき，次の確率を求めなさい。



(1)　2 の目が出る確率

(2)　奇数の目が出る確率

(3)　5 以上の目が出る確率

6 大小 2 個のさいころを同時に投げるとき，次の確率を求めなさい。

(1)　出る目の和が 9 になる確率

(2)　出る目の積が 12 になる確率

(3)　少なくとも一方の目が 6 である確率

7 大小 2 個のさいころを同時に投げて，出た目をそれぞれ a，b とします。a，b が，次の関係を満たす確率を求めなさい。

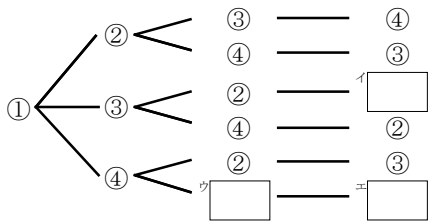
(1) $a > 2b$

(2) $a + 2b = 9$

8 □ に適当なことばと番号を入れなさい。

◆ 起こりうるすべての場合を，順序よく整理して表した下のような図を ア□ という。

◆ ① ～ ④ を順に並べるとき，① が最初にくる場合について樹形図で表すと次のようになる。



9 赤玉 2 個，白玉 4 個が入った袋から，同時に 2 個の玉を取り出すとき，次の問いに答えなさい。

(1) 玉の取り出し方は全部で何通りあるか求めなさい。

(2) 1 個が赤玉で，1 個が白玉になる確率を求めなさい。

10 白玉 2 個，赤玉 3 個が入った袋から，同時に 2 個の玉を取り出すとき，2 個とも白玉が出る確率を求めなさい。

11 1，2，3，4，5 の数が 1 つずつ書かれた 5 枚のカードから，同時に 2 枚のカードを取り出すとき，次の確率を求めなさい。

(1) 1 枚が奇数，1 枚が偶数になる確率

(2) 2 枚の和が 7 以上になる確率

12 1，2，3，4 の 4 枚のカードから，もとにもどさずに続けて 2 枚を取り出すとき，次の確率を求めなさい。

(1) 2 枚とも奇数である確率

(2) 1 枚が奇数で，1 枚が偶数である確率

２年生　６章　確率（基本問題練習）※１、２、３が解ける人は、公立過去問へ。不安な人は、このプリント４～基礎を固めよう！

1 大小 2 個のさいころを同時に投げるとき，次の確率を求めなさい。

(1) 2 個とも 3 の倍数の目が出る確率 ○

(2) 出る目の積が 20 以上になる確率 △ ）と表す。

	1	2	3	4	5	6
1						
2						
3			○			○
4					△	△
5				△	△	△
6			○	△	△	○△

(1) $\frac{4}{36} = \frac{1}{9}$ //

(2) $\frac{8}{36} = \frac{2}{9}$ //

◎ 表を2つ作るのは大変なので記号で使いわけました。

2 青玉 2 個，白玉 3 個が入った袋から，同時に 2 個の玉を取り出すとき，1 個が青玉で，1 個が白玉になる確率を求めなさい。

青＝Blue＝B，白＝White＝W とおき，
番号をつけて区別すると B_1, B_2, W_1, W_2, W_3 となる。

$B_1 - B_2$　　$B_2 - W_1$ ○　　$W_1 - W_2$　　$W_2 - W_3$

W_1 ○　　W_2 ○　　W_3

W_2 ○　　W_3 ○

W_3 ○

$\frac{6}{10} = \frac{3}{5}$ //

3 1，2，3，4 の数を 1 つずつ書いた 4 枚のカードから，もとにもどさずに続けて 2 枚を取り出します。1 枚目のカードを十の位の数，2 枚目のカードを一の位の数として 2 けたの数をつくります。

1　2　3　4

(1) 2 けたの数は全部で何通りできるか求めなさい。

(2) できた 2 けたの数が，奇数である確率を求めなさい。

(1) 1－2　2－1 ○　3－1 ○　4－1 ○

3 ○　3 ○　2　2

4　4　4　3 ○

12通り //

(2) 奇数は 1の位が奇数なので ○ でチェックする。

$\frac{6}{12} = \frac{1}{2}$ //

(　　)組(　　)番　名前(　　)

4 表を使って整理する

例題　大小 2 個のさいころを同時に投げるとき，出る目の和が 8 になる確率を求めなさい。

大小 2 個のさいころの目の出方は，次のように全部で 36 通りある。

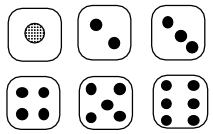
大＼小	1	2	3	4	5	6
1	(1, 1)	(1, 2)	(1, 3)	(1, 4)	(1, 5)	(1, 6)
2	(2, 1)	(2, 2)	(2, 3)	(2, 4)	(2, 5)	(2, 6)
3	(3, 1)	(3, 2)	(3, 3)	(3, 4)	(3, 5)	(3, 6)
4	(4, 1)	(4, 2)	(4, 3)	(4, 4)	(4, 5)	(4, 6)
5	(5, 1)	(5, 2)	(5, 3)	(5, 4)	(5, 5)	(5, 6)
6	(6, 1)	(6, 2)	(6, 3)	(6, 4)	(6, 5)	(6, 6)

このとき，出る目の和が 8 になっているのは $\boxed{5}$ 通りあるから，その確率は $\boxed{\frac{5}{36}}$

さいころ2個の表を作るときは
この表を足したり引いたり分けたりします。

5 1 個のさいころを投げるとき，次の確率を求めなさい。

(1) 2 の目が出る確率
(2) 奇数の目が出る確率
(3) 5 以上の目が出る確率



さいころ1個が出す目は 1〜6 の 6通り。

(1) 2 は1通りなので $\frac{1}{6}$

(2) 奇数は 1、3、5 の 3通り $\frac{3}{6}=\frac{1}{2}$

(3) 5以上は 5, 6 の 2通り $\frac{2}{6}=\frac{1}{3}$

6 大小 2 個のさいころを同時に投げるとき，次の確率を求めなさい。

(1) 出る目の和が 9 になる確率 ○
(2) 出る目の積が 12 になる確率 △
(3) 少なくとも一方の目が 6 である確率 □

}で表す。

	1	2	3	4	5	6
1						□
2						△□
3				△		○□
4			△		○	□
5				○		□
6	□	△□	○□	□	□	□

(1) $\frac{4}{36}=\frac{1}{9}$

(2) $\frac{4}{36}=\frac{1}{9}$

(3) $\frac{11}{36}$

7 大小 2 個のさいころを同時に投げて，出た目をそれぞれ a，b とします。a，b が，次の関係を満たす確率を求めなさい。

(1) $a > 2b$

(2) $a + 2b = 9$

(1) $(a, b) = (3, 1)\ (4, 1)\ (5, 1)\ (5, 2)$
$(6, 1)\ (6, 2)$ の $\frac{6}{36} = \frac{1}{6}$ //

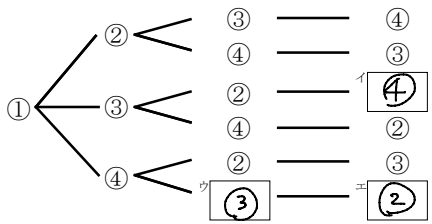
(2) $a = 1 \to 1 + 2b = 9 \to b = 4$
$2 \to 2 + 2b = 9 \to b = \frac{7}{2}$
$3 \to 3 + 2b = 9 \to b = 3$
$4 \to 4 + 2b = 9 \to b = \frac{5}{2}$
$5 \to 5 + 2b = 9 \to b = 2$
$6 \to 6 + 2b = 9 \to b = \frac{3}{2}$

以上より
$(a, b) =$
$(1, 4)$
$(3, 3)$
$(5, 2)$ の3通り
$\frac{3}{36} = \frac{1}{12}$ //

8 □ に適当なことばと番号を入れなさい。

◆ 起こりうるすべての場合を，順序よく整理して表した下のような図を ア □ という。

◆ ① ～ ④ を順に並べるとき，① が最初にくる場合について樹形図で表すと次のようになる。



書き方にルールはありません。

・数え忘れ
・重複しない

ように作ろう。

9 赤玉 2 個，白玉 4 個が入った袋から，同時に 2 個の玉を取り出すとき，次の問いに答えなさい。

(1) 玉の取り出し方は全部で何通りあるか求めなさい。

(2) 1 個が赤玉で，1 個が白玉になる確率を求めなさい。

$R_1 - R_2$
W_1 ○
W_2 ○
W_3 ○
W_4 ○

$R_2 - W_1$ ○
W_2 ○
W_3 ○
W_4 ○

$W_1 - W_2$
W_3
W_4

$W_2 - W_3$
W_4

$W_3 - W_4$

(1) 15通り

(2) $\frac{8}{15}$

10 白玉 2 個，赤玉 3 個が入った袋から，同時に 2 個の玉を取り出すとき，2 個とも白玉が出る確率を求めなさい。

$W_1 - W_2$ ○
R_1
R_2
R_3

$W_2 - R_1$
R_2
R_3

$R_1 - R_2$
R_3

$R_2 - R_3$

$\frac{1}{10}$ //

11 1，2，3，4，5 の数が 1 つずつ書かれた 5 枚のカードから，同時に 2 枚のカードを取り出すとき，次の確率を求めなさい。

(1) 1 枚が奇数，1 枚が偶数になる確率 ○ △ ）で表す。

(2) 2 枚の和が 7 以上になる確率

1－2○　2－3○　3－4○△
　3　　4　　5　△
　4○　　5○△　4－5○△
　5

(1) $\frac{6}{10} = \frac{3}{5}$ //

(2) $\frac{4}{10} = \frac{2}{5}$ //

12 1，2，3，4 の 4 枚のカードから，もとにもどさずに続けて 2 枚を取り出すとき，次の確率を求めなさい。

(1) 2 枚とも奇数である確率 ○ △ ）で表す。

(2) 1 枚が奇数で，1 枚が偶数である確率

1－2　△　2－1　△　3－1○　4－1　△
　3○　　3　△　　2　△　2
　4　△　　4　　4　△　3　△

(1) $\frac{2}{12} = \frac{1}{6}$ //

(2) $\frac{8}{12} = \frac{2}{3}$ //